

社会福祉法人明松会定款

第1章 総 則

(目的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(ア) 障がい者支援施設の経営

(2) 第二種社会福祉事業

(ア) 障害福祉サービス事業の経営

(イ) 特定相談支援事業の経営

(ウ) 障害児相談支援事業の経営

(名称)

第2条 この法人は、社会福祉法人明松会という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を山形県酒田市相沢字北森1 5 5 番地に置く。

第2章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に、評議員7名以上9名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事2名、外部委員3名の合計5名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の2名以上が出席し、かつ、外部委員の2名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第6条の2 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人

の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

（評議員の任期）

第7条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとすることができる。

3 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

（評議員の報酬等）

第8条 評議員に対して、各年度の総額が108万円を超えない範囲で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を、報酬として支給することができる。

第3章 評議員会

（構成）

第9条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

（権限）

第10条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 解散
- (12) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

（開催）

第11条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、3月及び必要がある場合に開催する。

（招集）

第12条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第13条 評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から互選で定める。

(決議)

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行われなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第17条第1項に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名が、前項の議事録に記名押印する。

(評議員会運営細則)

第16条 評議員会の運営についての細則は、評議員会において定める。

第4章 役員及び職員

(役員の定数)

第17条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上8名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

(役員を選任)

第18条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員の資格)

第18条の2 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事の

- うちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。
- 2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

（理事の職務及び権限）

- 第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。
- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行する。
- 3 理事長は、3箇月に1回以上、自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

（監事の職務及び権限）

- 第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。
- 2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

（役員任期）

- 第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 任期の満了前に退任した理事又は監事の補欠として選任された理事又は監事の任期は、退任した理事又は監事の任期の満了する時までとすることができる。
- 3 理事又は監事は、第17条第1項に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

（役員解任）

- 第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。
- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

（役員報酬等）

- 第23条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

（職員）

- 第24条 この法人に、職員を置く。
- 2 この法人の設置経営する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）

は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第5章 役員等の損害賠償の免除

(損害賠償責任の免除)

第25条 理事又は監事が任務を怠ったことによって生じた損害について社会福祉法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、社会福祉法第45条の22の2において準用する一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号、以下「一般法人法」という。）第113条第1項の規定により免除することができる額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

(責任限定契約)

第26条 この法人は、社会福祉法第45条の22の2において準用する一般法人法第115条第1項の規定により、同項に規定する非業務執行理事等との間に、任務を怠ったことによる損害賠償の責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第113条第1項で定める最低責任限度額とする。

第6章 理事会

(構成)

第27条 理事会は、全ての理事をもって構成する。

(権限)

第28条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては、理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長の選定及び解職

(招集)

第29条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(議長)

第30条 理事会の議長は、理事長がこれに当たる。

2 前条第2項の規定により招集された理事会の議長は、出席した理事の中から互選で定める。

(決議)

第31条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監

事が当該提案について異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があつたものとみなす。

(議事録)

第32条 理事会の議事については、法令の定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長(理事長が出席しない場合は出席した理事)及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

第7章 資産及び会計

(資産の区分)

第33条 この法人の資産は、これを分けて基本財産とその他財産の2種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 山形県酒田市相沢字北森155番所在の障がい者支援施設和光園 敷地(1,435.09平方メートル)
- (2) 山形県酒田市相沢字北森164番2所在の障がい者支援施設和光園 敷地(1,683.29平方メートル)
- (3) 山形県酒田市相沢字北森164番3所在の障がい者支援施設和光園 敷地(528.70平方メートル)
- (4) 山形県酒田市引地字宅地28番所在の障がい者支援施設和光園作業指導場 敷地(306.00平方メートル)
- (5) 山形県酒田市引地字宅地29番所在の障がい者支援施設和光園作業指導場 敷地(153.00平方メートル)
- (6) 山形県酒田市相沢字北森164番1所在の障がい者支援施設和光園作業指導場 敷地(131.00平方メートル)
- (7) 山形県酒田市相沢字北森183番2所在の障がい者支援施設和光園作業指導場 敷地(96.00平方メートル)
- (8) 山形県酒田市相沢字北森912番1所在の障がい者支援施設和光園作業指導場 敷地(186.00平方メートル)
- (9) 山形県酒田市字内町31番21所在の和光園共同生活事業所なごみ 敷地(330.58平方メートル)
- (10) 山形県酒田市竹田字下川原201番4所在の障がい福祉サービス事業所いっば 敷地(679.15平方メートル)
- (11) 山形県酒田市竹田字下川原201番5所在の障がい福祉サービス事業所いっば 敷地(2,034.96平方メートル)
- (12) 山形県酒田市仲町36番1所在の共同生活事業所仲町ホーム 敷地(822.00平方メートル)
- (13) 山形県酒田市仲町37番所在の共同生活事業所仲町ホーム 敷地(1,005.00平方メートル)
- (14) 山形県酒田市仲町47番4所在の共同生活事業所仲町ホーム 敷地(671.00平方メートル)

- (15) 山形県酒田市相沢字北森155番地・164番地3所在の鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園園舎 1棟(2,958.36平方メートル)
 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園作業所 1棟(163.98平方メートル)
 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園車庫 1棟(72,00平方メートル)
 コンクリートブロック造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園機械室 1棟(12.80平方メートル)
 木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園 倉庫 1棟(33,00平方メートル)
 木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋建 障がい者支援施設和光園車庫 1棟(46.27平方メートル)
- (16) 山形県酒田市相沢字北森164番地2所在の木造合金メッキ鋼板葺平屋建和光園共同生活事業所ふきのとう 寄宿舍 1棟(109.61平方メートル)
- (17) 山形県酒田市字内町31番地21所在の木造瓦葺平屋建 和光園共同生活事業所なごみ 寄宿舍 1棟(186.75平方メートル)
- (18) 山形県酒田市竹田字下川原201番地5所在の木造瓦葺平屋建 障がい福祉サービス事業所いっぽ作業場 1棟(235.49平方メートル)
 木造合金メッキ鋼板葺平屋建 障がい福祉サービス事業所いっぽ作業場・車庫 1棟(89.23平方メートル)
- (19) 山形県酒田市仲町37番地、36番地1所在の木造合金メッキ鋼板ぶき2階建 共同生活事業所仲町ホーム グループホーム(1階 720.35平方メートル 2階 64.41平方メートル)
- (20) 定期預金 10,000,000円

3 その他財産は、基本財産以外の財産とする。

4 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第34条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、酒田市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、酒田市長の承認は必要としない。

- (1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合。
- (2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人福祉医療機構の福祉交付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

- (3) 社会福祉施設整備のための資金に対する融資を行う確実な民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合で、当該事業計画が適切であるとの関係行政庁による意見書を所轄庁に届け出た場合。なお、当該貸付に係る償還が滞った場合には、遅滞なく所轄庁に届け出るものとする。

(資産の管理)

第35条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて、保管する。

(事業計画及び収支予算)

第36条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第37条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- (5) 貸借対照表及び収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の附属明細書
- (6) 財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類をこの法人の事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款をこの法人の事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第38条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第39条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第40条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認がなければならない。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第40条の2 この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数（現在数）の3分の2以上の承認を要する。

第8章 解散

(解散)

第41条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第42条 解散（合併または破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を経て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定款の変更

(定款の変更)

第43条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、酒田市長の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を酒田市長に届け出なければならない。

第10章 公告その他の方法

(公告の方法)

第44条 この法人の公告は、社会福祉法人明松会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞又は電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第45条 この定款に定めるもののほか、この定款の施行についての細則は理事会において定める。

附 則

1 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員を選任を行うものとする。

理事長	土方大 美
理事	渋谷雄 三
〃	佐藤年 男
〃	阿部藤一 郎

〃	樋 渡 昭
〃	石 塚 清 女
〃	佐 藤 与 助
〃	三ッ澤 敏
監 事	遠 田 保 夫
〃	榎 本 榮 一

2 この定款は、平成2年6月19日から施行する。

附 則

この定款は、平成3年5月27日から施行する。

附 則

この定款は、平成4年5月22日から施行する。

附 則

この定款は、平成6年3月22日から施行する。

附 則

この定款は、平成7年6月30日から施行する。

附 則

この定款は、平成8年6月21日から施行する。

附 則

この定款は、平成9年4月30日から施行する。

附 則

この定款は、平成10年3月26日から施行する。

附 則

この定款は、平成10年4月27日から施行する。

附 則

この定款は、平成10年10月23日から施行する。

附 則

この定款は、平成11年4月1日から施行する。

附 則

この定款は、平成12年2月7日から施行する。

附 則

この定款は、平成13年7月5日から施行する。

附 則

1 この定款に基づく評議員の選任は次の役員を以って行い、第7条の規定による役員就任と同時にその職を失う。

理事長	土 方 大 美
理 事	渋 谷 雄 三
〃	佐 藤 年 男
〃	阿 部 藤 一 郎
〃	三ッ澤 敏
〃	佐 藤 光 正
〃	石 塚 名 賀 夫
〃	菅 原 嘉 一
〃	佐々木 千 治

〃 佐藤 旭
監事 榎本 榮一
〃 長南 照雄

- 2 この定款は、平成14年5月20日から施行する。
附則
この定款は、平成15年5月19日から施行する。
附則
この定款は、平成16年2月27日から施行する。
附則
この定款は、平成18年3月17日から施行する。
附則
この定款は、平成18年10月3日から施行する。
附則
この定款は、平成19年8月27日から施行する。
附則
この定款は、平成20年10月3日から施行する。
附則
この定款は、平成21年10月26日から施行する。
附則
この定款は、平成22年3月31日から施行する。
附則
この定款は、平成23年3月28日から施行する。
附則
この定款は、平成24年6月7日から施行する。
附則
この定款は、平成25年4月1日から施行する。
附則
この定款は、平成25年6月24日から施行する。
附則
この定款は、平成26年2月21日から施行する。
附則
この定款は、平成29年4月1日から施行する。
附則
この定款は、平成30年11月9日から施行する。
附則
この定款は、令和元年7月24日から施行する。
附則
この定款は、令和2年6月23日から施行する。
附則
この定款は、令和3年8月23日から施行する。